



題 字
初代会長 松野 盛吉
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋 正尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

二〇二三年度全国統一防火標語

火を消して 不安を消して つなぐ未来

年頭の ごあいさつ

一般財団法人秋田県消防協会
会長 高橋 正尚



初めに、一月一日に発生した令和六年能登半島地震により亡くなられた方々に

に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。皆さまの郷土が速やかに復旧され、穏やかな暮らしが戻ってくることをお祈りいたしております。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が五類に移行したことにより、県内の伝統行事や祭りが通常規模で開催され、外国人観光客の姿も散見されるなど各地で活気が戻ってきました。

また、秋田港では風車一三基が商業運転を開始し、能代港の二〇基と合わせて三三基が本格稼働したことは、洋上風力発電が本県の主要な産業として発展することが期待される

明るい話題でした。

協会においては、四年ぶりの開催となる「第七四回秋田県消防大会」を男鹿潟上南秋支部とともに準備を進めてきましたが、七月一四日から一六日にかけて県中部から県北部を襲った記録的な大雨により中止を余儀なくされました。

この大雨では一五市町村で被害がありました。なかでも、秋田市で河川決壊による外水氾濫に加え、下水道や水路が排水しきれない内水氾濫により市街地が広範囲に浸水し、多くの住家被害が発生したことは、都市防災力の強化が喫緊の課題であることを痛感させるものでした。

このほか、一〇月二二日、東京都で「第二五回全国女性消防操法大会」が開催され、本県から大仙市女性消防隊が出場しました。入賞には届きませんでしたが、優れたチームワークで大いに健闘しました。

一月一六日、金沢市で「第二八回全国女性消防団員活性化石川大会」が開催され、本県から三五名(女性団員二七名)が参加しました。大仙市消防団が発表した「リユースグッズ大

作戦」は、斬新なアイデアとして大きな反響を呼びました。

近年、我が国では、これまでの予測や経験を超える災害がいつでもどこでも発生するようになっていきます。

本県では、一昨年にも記録的大雨に見舞われており二年連続となります。

こうした困難な状況に対応するため、消防職・団員の装備の充実や教育訓練、さらに地域住民を巻き込んだ防災減災の備えが益々重要になっていきます。皆さまにおかれましては、地域における消防防災の要として、これまで培われてきた知識と豊富な経験を活かし、お力添えを賜りますようお願いいたします。

本年が災害のない平穏な年になりますこと、さらに皆様にとって充実した素晴らしい年でありますことを祈念し、新年の挨拶といたします。

本年もよろしくおねがいします!



令和六年の 新春を迎えて



秋田県知事
佐竹 敬久



令和六年の輝かしい新春を迎え、県内消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶

びを申し上げます。皆様には、県民の生命・財産を守るため、消防防災活動に精励していただいていることに対し、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

元日に発生した令和六年能登半島地震と、二日に発生した航空機事故では大きな被害が発生しました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。本県としても、被災地の一日も早い復旧・復興のため、支援を行ってまいります。

本県でも、昨年、七月一四日から一六日にかけて記録的な大雨に見舞われました。これにより、河川の増水・氾濫に加え、市街地で内水氾濫とみられる浸水が発生したほか、水道施設の被災により、広範な地域で

断水するなど、県内各地で甚大な被害がありました。

七月の大雨に続いて八月以降は記録的な高温や少雨が続く異常気象にも見舞われました。こうした自然災害が頻発化・激甚化する中で、地域防災力の向上はますます重要になっており、地域に密着して活動する消防団の役割が期待されております。

地域の実情に通じる消防団が、災害発生時の救助・救出、避難誘導等に加え、防火指導などに幅広く活動することで、住民からの信頼感が高まり、地域防災力の向上にもつながるものと考えております。

一方、人口減少や高齢化の進行、被雇用者団員の増加など、消防団を取り巻く状況は厳しさを増しております。

このため、県においても新たな団員確保や消防団活動の活性化に向け、令和五年度から「消防団加入促進モデル事業」として、市町村が実施する消防団の体験活動イベントへの助成、若手及び女性団員によるワークショップの開催、これらの成果を踏まえたシンポジウムの開催に取り組んでいるところです。

結びに、本年が火災や災害のない平穏な一年でありますとともに、皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、年頭の挨拶といたします。

地域防災力充実強化法一〇年

「令和六年 新春ごあいさつ」



公益財団法人日本消防協会
会長 秋本 敏文



今年には正月早々、日本海側で最大震度七を観測する大規模な地震、津波が

発生しました。この地震により亡くなられた方々に心より哀悼の意を表しますとともに、被災されました方々にお見舞いを申し上げます。

日本消防協会が、多くの方々にご協力を頂き建設を進めてきた新日本消防会館が夏に完成します。その際には、日本消防と全国地方自治体の一層の発展に貢献し、国民の皆様の安全向上のため努力してまいります。

阪神淡路大震災、東日本大震災などを踏まえ、我が国の消防防災体制が目指す方向として制定された地域防災力充実強化法が一〇年を迎えます。その間、地球規模の気象変化により、災害は様相を変え、多発化、激甚化しています。さらに、地域の社会経済環境も変化しており、国民の安全を確保する消防防災活動は、益々重要となっており、防災基盤の整備、設備・装備の改善、的確な情報収集など多くの課題に対処しなければなりません。

ません。

また、地域防災体制の中核である消防団の団員数が急激に減少しており、最近五年間で八万人の減、団員総数は七六万人となっております。女性防火クラブもかつての二〇〇万人超から、間もなく一〇〇万人を切りそうな減少となっております。地域防災体制は、幅広い地域の方々の総参加総活躍のもと、さまざまな事態への対応が必要ですが、このような状況で推移した時、将来どうなるのか経験したことのない局面を迎えております。これは、国民の安全確保に直結する国民的課題であると思われま

す。消防団員の皆さんは、地域社会の一員として、農漁業、商工業等さまざまな仕事に就きながら消防団活動にも従事されているので、地域の皆さんやご家族の理解を得ながら、地域一体の対応にもご配慮いただきたいと思います。

日本消防協会では、今年完成する新会館に設置する防災情報センターや一〇〇〇席のホールなどを利用して、微力ながら地域防災力の充実強化に努力してまいります。

秋田県の無事平穏そして消防関係者の皆様の無事故での御活躍をお祈り申し上げます、新年の御挨拶といたします。

年頭の ごあいさつ

秋田県市長会会長
秋田市長
穂積 志



県内の消防関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、住民の生命と財産を守るため、それぞれの地域において日夜奮闘されておりますことに心から敬意を表します。

さて、令和五年七月一日から一九日にかけての活発な梅雨前線の影響により、県内は記録的な豪雨に見舞われ、河川の氾濫や内水氾濫により、道路の冠水や土砂崩れ等による交通網の寸断のほか、住家をはじめ、福祉施設や医療機関、事業所などの建物の浸水被害が多数発生しました。

この豪雨災害に際しては、皆様のご活躍により、多くの方々が救助され復旧・復興も着実に前進させることができておりますことに、心から感謝申し上げます。

秋田県市長会では、この豪雨災害

に關し、「市民の生活再建に対する財政支援について」、「中小企業者の災害復旧や事業継続のための支援について」、「治水対策の促進と必要な予算の確保について」、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策予算の確保について」、「特別交付税の配分への配慮について」の五項目を県選出等国会議員に対し、一月に要望したところであります。

また、同月に開催した秋田県知事と市町村長との行政懇談会においても重点提案・要望事項として、「治水事業整備促進及び総合的な河川整備の推進について」を要望いたしました。

皆様におかれましては、引き続き、日々の防災活動や地域の防災意識の高揚などにお力添えを賜りますようお願いいたします。

秋田県市長会においては、安全・安心に暮らせるまちを目指し、今後とも要望等、様々な取組を進めてまいりますので、本年も皆様からのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、皆様のご健康とご多幸、そして何よりも本年が災害のない平穩な年となりますことを祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

令和六年の 新春を迎えて

秋田県消防長会会長
秋田市消防長
工藤 琢磨



令和六年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆さまに謹んで新年のお喜びを申し上げます。

皆様には、平素から本県の消防行政の第一線に立ち、火災をはじめとする各種災害から地域住民の安全と安心を守るため、昼夜を問わず献身的に活動されていることに対し心から敬意と感謝を申し上げます。

また、昨年の消防長会各種事業においては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが五類に移行したこともあり、人数制限等を設けることなく、通常開催とすることができました。開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

災害に目を向けますと、本県では活発な梅雨前線の影響により、七月一日から断続的に雨が降り続き、広い範囲で浸水被害が発生するな

ど、大きな爪痕を残す記録的な豪雨となりました。災害対応や復旧支援に当たられた消防団員、消防職員の皆様に感謝申し上げますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

近年の災害は、地球温暖化等による気候変動の影響で頻発化、広域化、甚大化の一途を辿り、全国各地で過去に例を見ない大きな被害が発生しています。そのような中、地域住民が消防に期待する役割は、地域の安全・安心を確保するための存在であり続けることです。

秋田県消防長会としては、あらゆる災害事象に迅速、的確に対応していくため、災害形態や社会情勢の変化に対して常にアンテナを高くするとともに、常備消防と各地域の中核となる消防団をはじめ自主防災組織、警察、自衛隊および医療機関等との連携をより強固にし、広域的な災害対応能力の一層の充実強化に取り組んでまいります。

結びに、皆様方の益々のご健勝とご多幸、そして本年が災害のない平穩な明るい一年となりますよう祈念し、新年の挨拶といたします。

令和六年 消防出初式

令和六年の消防出初式は、一月四日から一四日にかけて、県内二五地区で消防団員ら約七、八〇〇名が参加して行われました。

秋田県知事あいさつ(要約)

令和六年の新春を迎え、消防出初式が厳かに開催されますことをお喜び申し上げます。

昨年七月の大雨で人的被害が少なかつたのは、日頃の備えや迅速な避難誘導など、消防職員や消防団員の皆様の的確な防災活動の賜物であり、深く感謝申し上げます。

県では、市町村や消防本部と連携し、消防防災体制や救急救命体制の充実とともに消防団や自主防災組織の体制強化に取り組むほか、消防団員の確保にも力を入れてまいりますので、皆様におかれましても、地域防災の担い手として一層精励され、安全安心の確保にお力添えを賜りますようお願いいたします。

本年が火災や災害のない平穏な一年であるとともに、皆様方のご健勝・ご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



小坂町消防団



鹿角市消防団



北秋田市消防団



大館市消防団



能代市消防団



上阿仁村消防団



八峰町消防団



三種町消防団



男鹿市消防団



藤里町消防団



五城目町消防団



湯上市消防団



井川町消防団



八郎潟町消防団



秋田市消防団



大瀧村消防団



にかほ市消防団



由利本荘市消防団



仙北市消防団



大仙市消防団



横手市消防団



美郷町消防団



羽後町消防団



湯沢市消防団



東成瀬村消防団

**女性と若手の合同会議
を開催しました**

今年度、県が実施する「消防団加入促進モデル事業」のうち、女性・若手によるワークショップ開催とシンポジウム開催を協会が委託を受けて行っています。

この二事業の実行委員会として、女性消防団ネットワーク会議と若手消防団員活性化推進チームの委員による合同会議を一二月二二日にイヤタカで開催しました。



会議では、これまで県内三カ所で行った女性及び若手消防団員の意見を、二月一七日に開催する「今後の消防団のあり方、役割を考えるシンポジウム」でどのようにアピールするかを話し合いました。

新たな消防団員の加入を促進するためには、若い世代が誇りを持って活動できる消防団であることが重要なことから、今後も若い世代の意見交換やPR活動を行っていくことにしています。

市町村のイベントで 消防団をPRしました

県が今年度実施している「消防団加入促進モデル事業」では、市町村のイベントで、一般の方々に消防団活動を体験してもらおう企画に対して補助金を交付しています。

この制度を活用して、大館市消防団と美郷町消防団がPR活動を行ったので、その概要を紹介します。

なお、この制度は令和六年度も継続するので、関心のある方は市町村を通して秋田県総合防災課にお問い合わせください。

大館市消防団の取組

大館市消防団は、一〇月二一日及び二二日、ニプロハチ公ドームで開催された大館圏域産業祭で消防団ふれあいブースを設置し、PR活動を行いました。

纏振りや資機材の体験会、女性消防団員による子ども防災教室のほか、秋田県住みます芸人きり亭たん方さん、地元ヒーローで消防団員のコウライザーにも出演してもらいました。

消防団を身近に感じるという目標は達成できたと思います。参加した団員も手応えを感じており、加入促進に繋がるような工夫をして、また実施したいと考えております。

美郷町消防団の取組

美郷町消防団は、一〇月二一日及び二二日、美郷町総合体育館リリオスで開催された美郷町フェスタで消防団ブースを設置し、PR活動を行いました。

子供消防団員の制服を使ったふれあい活動、町人劇団の劇を通じて消防団員募集の呼びかけ、よしもと芸人を招いてのお笑いステージ、芸人と消防団員のトークセッションなどを行いました。



来場者の消防団に対する認知は促進されたと思います。消防団員を友人に持つ方からの問い合わせも数件ありました。今後も一般向けのPRを行うっていききたいと考えております。



モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
防災事業部

〒010-0962 秋田市八橋大畑一丁目1番32号
TEL 018(863)1551 FAX 018(853)6311

支部情報アラカルト

教養研修会を実施しました

一〇月六日、仙台白百合女子大学 教授 臨床心理士 山崎洋史氏をお招きし、由利本荘にかほ支部主催、由利本荘市危険物安全協会後援の教養研修会を本荘グランドホテルで開催しました。

山崎教授は、消防大学校客員教授も務められており、同校では、教育技法、臨床心理学から見た職員管理の講義をお持ちです。同教授の講義を受講したことがある消防関係者も多数いることと思います。また、「学校教育とカウンセリング力」「メンタルヘルスと心理学」など多くの著書を発表されており、消防関係でも「訓練指導統制マニュアル」



や「人材育成ガイドライン」の出版にも携わられ、全国二八の消防学校で「教育技法」や「部下指導の教育心理学」の講義をされるなど、広く活躍されております。当日は、一三名の方に参加していただきました。

この度の研修会の演題は、「消防防災にかかわる人材の指導育成」でした。消防は「人を救う、助ける、守る」という最も崇高な仕事であり、チーム力による利他的行動と位置づけ、コミュニケーションの在り



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和 6 年		令和 5 年			同期比較	
	1 月	累計	1 月	累計	年計	1 月	累計
建 物	15	15	20	20	184	- 5	- 5
林 野	0	0	0	0	26	0	0
車 輛	2	2	1	1	25	1	1
その他	2	2	2	2	83	0	0
合 計	19	19	23	23	318	- 4	- 4
死者数	1	1	1	1	21	0	0
負傷者数	1	1	5	5	66	- 4	- 4

方や教育の目的、メタ認知・視覚優位などの教育指導技法の内容を講義していただきました。講義の最初の三分の一の時間で伝えたことが一番記憶に残るといった話が印象に残っています。また、同教授の話に感銘を受け、著書の購入を検討している人もいました。

日常生活だけでなく、職場内でもテキストコミュニケーションが増え、人間関係が希薄化し、認識のズレや思い込みによる事故が懸念されますが、この教養研修の成果が人間関係の構築や職場での人材育成に役立つことを期待しております。

〔情報提供〓由利本荘にかほ支部〕

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯 沢 市 田 町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営 業 種 目)

- 日本機械自動車ポンプ
- 消防設備保守点検
- トーハツポンプ
- キンバイホース
- 各種消防機械器具
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp